

価値は 因果と設計に 宿る

感情を捨て、泥臭い「仕組み」を作れ

勝ちたいなら、
~~勝つことを諦める。~~

結果や正解を求めた瞬間、成長は止まる。

一般的な「後悔」



過去の行動への悲しみ

「あの時、あんなことしなければ…」

本当の「正体」



自分の評価が下がる恐怖

「失敗してカッコ悪いと思われたくない」

後悔は「感情」ではない。「自己保身」のシステムエラーだ。

人間力 =

~~魔法 (Magic)~~

技術 (Technology)

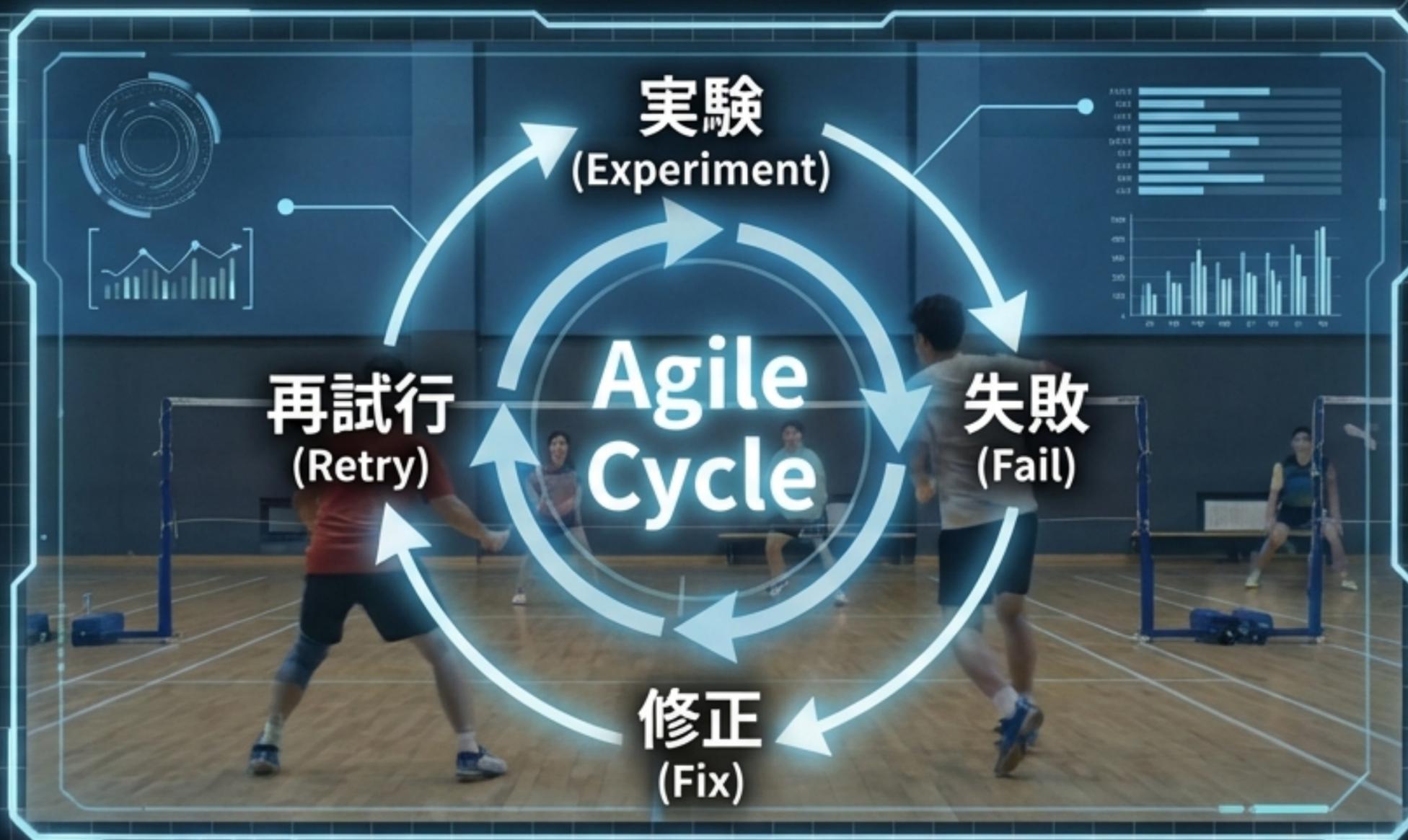


- 1. 挨拶も、共感も、すべては「設計」された選択である。
- 2. 「変わらない」ことは悪だ。
- 3. 抽象論に逃げるな。具体的に設計せよ。

AIの眼：「正解探し病」を捨てよ

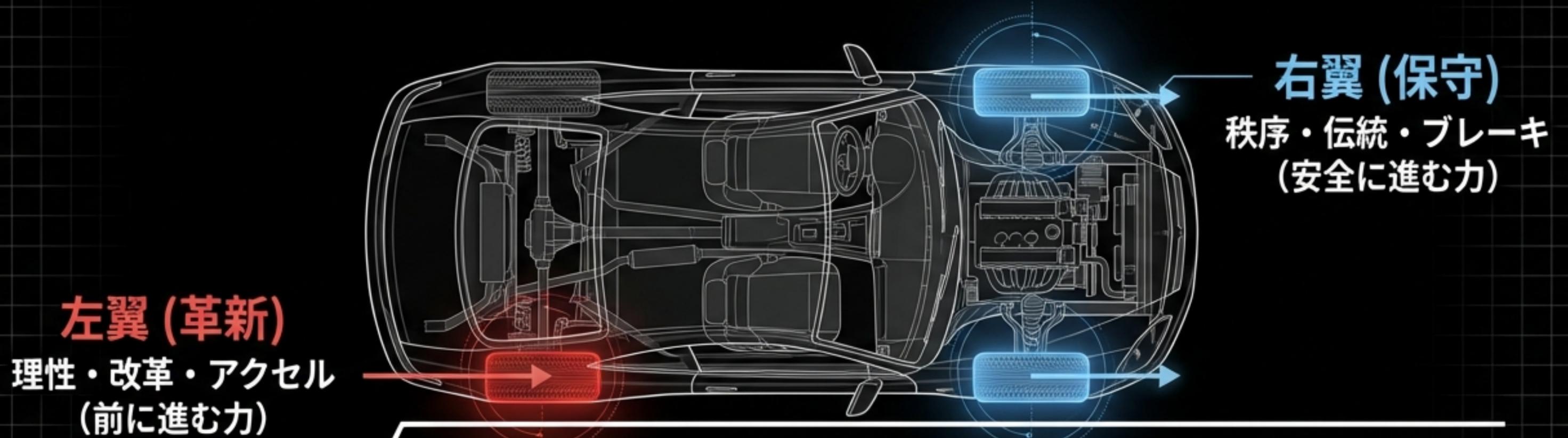
人生もスポーツも
「アジャイル開発」だ。

失敗は恥ではない。
単なる「実験データ」
である。



ACTION: 失敗を前提とした実験プロセスを回せ

右翼と左翼は「対立」ではない。「両輪」だ



どちらか一方では、社会 (車) は崖から落ちる。
バドミントンも仕事も「バランス」と「多様性」の理解が不可欠。

逃げるな。「あげない」覚悟を持って



ロブ
(LOB)

ネットショット
(NET SHOT)

「上げる」ことは「逃げ」である。
ネットギリギリで我慢し、
相手のミスを誘発せよ。

「たまたま」を排除し、「必然」を作る

反射 (Reflex) = 運任せ。再現性ゼロ。
準備 (Preparation) = 未来を設計すること。

準備 (Preparation) = 設計

再現性 100%

1. シャトルの延長線上にラケットを入れる。 2. しっかり「引いて」から面を作る。



上達への5つの鉄則

01

因果と設計

結果や感情に流されず、システムを作る。

02

人間力は技術

挨拶もコミュニケーションもスキルとして磨く。

03

脱・レッテル

「右か左か」で思考停止せず、具体を見る。

04

準備の徹底

反射で打つな。引いて、作る。

05

あげない覚悟

安易なロビングは「逃げ」と心得よ。



泥臭い実践チェックリスト

- 「**頑張ります**」という抽象的な言葉を禁句にしたか？
- ミスをした時、感情ではなく「**仕組み**」を修正したか？
- ネット前で追い込まれた時、勇気を持って沈めたか？
- シャトルに対し、常に「**正対**」して構えているか？

「安全地帯（抽象論）から抜け出せ。血と汗の滲む具体へ。」

その「熱狂」を目撃せよ

オンライン教室で、理論が「現実」に変わる瞬間を見る。

▶ 動画を見る：2026年2月26日 教室レポート

PHOENIX愛知